

# 勝林寺寺報

## 今年のお盆は

八月一日は「若松会」といって、朝早くに、子供がお寺に集まって、お参りをしたりお話しを聞いたりプレゼントをもらったり、そんなことをする日でした。

「今年のお盆は特別だよ。」

いつものお盆なら、お月様の光で、その光りに照らされて、自分が間違った暮らしをしていないかなと、自分で反省するための日がお盆ということなんだけど。

今年のお盆は特別だよ。」

お寺のこいんげさんの話でした。

「ホレ、日本は、百年まえの日清戦争からはじめて、丁度五〇年前の戦争に負けるまで、朝鮮や中国やタイやビルマや、弱い国をバカにしたり、やつついたり。そんなにして世界で一番の国になろうとして来ました。そのために、わたしたちのお父さんや兄さんや、おおくの兵隊を出して戦わせ、そして殺してしまいました。」

「この長い戦争が終わって今年が五〇年です。」

みなさんのおうちでは、戦争で亡くなった兵隊さんや爆撃で殺された人、また満州移民で死んだ人の五十回忌の法事も勤まるはずですよ。

日本の歩いて来たこの百年はどんな百年だったのかを考えましょう。それからまた、いまの日本は、もうよその国を踏みつけるようなことをしていないのかもよく考えてみましょう。また、第一このわたしが、弱いものいじめをしたり、それを楽しんだりしていることはないかを、よくよく考えることが大切です。」

お盆は、ウランバーナといって「さかさまむきでくらししていないか」。みんな反省しようねと、お釈迦様が教えてくださったときから始まったのだそうです。

若松会で聞いたのはなしの報告です。

(中一・男子)

## お彼岸



9月26日(月)

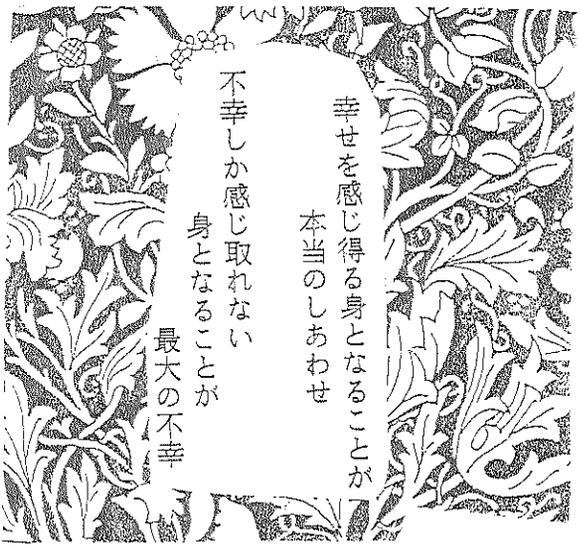
午後2時より

彼の岸からのお手紙  
蓮如さまの  
『ご文章』を  
伺ってみましょう



八月二十二日月曜日、宮嶋佳子(けいこ)ちゃん初参式が行われました。  
宮嶋寿賀雄・由加ご夫妻の第二子(長女)です。祖母寿美代さんに伴われてお参りなさいました。

萬景越エチ翔ブ 白鶴ノ舞  
素顔ユカシキ 宮島ノ秋  
お名前唄い込みのお祝いの辞を贈りました。



不幸を感じ得る身となるのが  
本当のしあわせ

不幸しか感じ取れない  
身となるのが  
最大の不幸

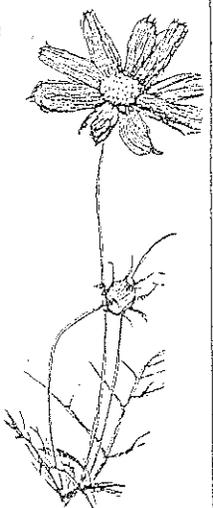
## 九月のこよみ

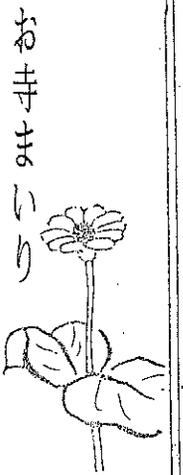
- 一日 出石組坊守研修旅行
- 二日 同日
- 三日 中山隆雄氏宅法事
- 四日 出石組総代研修会(西宗寺)
- 五日 中央相談員連絡会
- 六日 基幹運動本部会議
- 十日 門徒推進員養成中央教修玉日会定例法座
- 十一日 同日
- 十二日 宮嶋一男氏宅法事
- 十三日 門徒推進員中央教修
- 十四日 滋賀教区寺族婦人研修会
- 十五日 門徒推進員中央教修
- 十六日 熊本教区僧侶研修スタッフ教修
- 十七日 基幹運動第二専門部会
- 十八日 出石組信心佛志奉仕団
- 十九日 出石組信心佛志奉仕団
- 二十日 彼岸の入り
- 二十四日 真覚寺彼岸法要
- 二十五日 中嶋彰範氏宅法事
- 二十六日 彼彼出肝△△(みのりを聞く会)
- 二十八日 富山教区連研のための研修会
- 三十日 近畿仏婦大会

中央仏教学院講義



こよみ研修会風景





おむすまいる  
昭和三年生まれのわたしは、今年ではや六十六歳になりました。あの激動の戦前・戦後を生きてきたわたしには、それだけに数え切れない苦楽の思い出もいろいろあります。しかしその数々の思い出の底にあるのは、幼いころ育てていただいた「お寺参り」のご縁であったと思います。

わたしの実家は、尾崎の善立寺門徒でございました。

春秋のお彼岸・永代経・報恩講と、法義熱心な祖父母に連れられて、三、四歳のころからいつもいつもお参りしたことがこころに残っております。

あのころのお参りは、近所隣り誘い合、夜のお参りには、めんめ丸提灯で足元を照らしながら、語らいあいながらのお参りで、子供にとってもとても楽しいことでもございました。

今にして思うと、昔の人たちは、みなみな熱心な方たちで、平生からおみのり大切に、よくお勤めなされたものだと思っています。

昭和二十四年に結婚して、同じ浄土真宗の勝林寺門徒となり、引き続きお寺参りのご縁をいただき今に至ったことを、勿体なく不思議にさえ思うのでございます。

この八月一日、町内の寺で、若松会「こどもの集い」がありました。わがやも孫娘二人参加させていただきました。

勝林寺の本堂に「お念佛の声を 世界に 子や孫に」というわたしたち宗門の

基幹運動スローガンが掲げてあります。これはそのままわたしの願いでもあります。

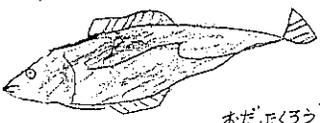
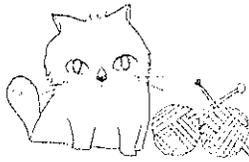
幼いころ祖父母・両親から育てられたように、何はともあれお念佛のおよびごえのなかで、子や孫と共に、一回でも多く、寺の行事や聞法に励ませていただきたいと念じております。

この足どりおぼつかないわたしのために、働き励んでくださる如来様のことをしっかりとこころにして、子や孫と共に、念佛いそむしあわせな家庭を築きたいというのが、わたしの生涯の願いでございます。

今年も大盛会

子ども 45人  
仏婦 12人

スタフ  
垣藤池西池  
逸保匡美幸  
谷斎西池



きんのうの  
ごいんげさま  
のはなしかあ  
もしろかったで  
す。ありがたう。

子供研修会

ありがとうございます

◇こどもかい楽しかったです。「恐竜物語」のビデオがおもしろかったです。そしてウオークラリーがとっても楽しかった。工作にちよ

お元気ですか?  
8月18日は、1日、ありがとうございました。班の人、ちがう班の人とも、仲良くできました。ウオークラリーで、中で雨がふって、びしょ濡れでしたが、おんてした。私は、24日なんだけと、前よりも楽しかった。それでは、来年もよろしくおねがいします。奥地陽子 陽子

うちをとおしてもらったので、学校にもっていきます。またねんもいきたいと思います。ありがとうございます。(いわがみ・りえ)

◇ごいんげさん、こども会ありがとうございました。頭上注意のゲーム、ごいんげさんのおはなしかあもしろかったです。それでらいいねんもいきたいと思います。おてらのカレーもたのしみです。(岩上敏太)

◇きのうはありがとうございました。いちばんのしかなかったのはウオークラリーでした。わたしたちのはんはせんぶまわってせんぶあつたのでうれしかったです。またいかせてもらいます。(森友りえ)

◇ごいんげさん、十八日はおもしろいゲームやおもしろいごちそうをありがとうございました。ほくはまた来年いきますのでどうぞおねがいします。おてらでやったせんぶのことが楽しかったです。ほんとうにありがとうございました。(横山邦充)

◇先日はありがとうございました。いろんな勉強ができたのしかったです。ウオークラリーのときは途中雨がふったので帰りました。一つのお寺しかいけなくて残念でした。ゲームも楽しかったです。よその人も遊べてよかったです。また行かせてもらいたいと思います。(森友孝裕)

◇お寺のこども会とても楽しかったです。ごいんげさんのお話をきいて戦争はこわいなと思えました。ウオークラリーでいけなくなつたのがとてもごんねんでした。カレーもランチもどちらもとてもおいしかったです。つくってくれたおばちゃんたち、どうもありがとうございました。(中しま美佳)

◇こどもけんしゅう会に行けて、ゲームやうたをうたって、おもしろかったです。カレーライスもおいしくて、おかわりもしました。来年も生きたいです。ありがとうございます。(坂本典子)

このあいだは子どもけんしゅう会をありがとうございました。ウオークラリーはあめがふつてごんねんでしたが、一日楽しかったです。(斎藤清喜)

◇このあいだはこどもけんしゅうかいにありがとうございました。ゲームで一番おもしろかったのは、紙ざらを上に乗せてさいしょからゴールまでするのがおもしろかったです。またいきたいなと思います。(斎藤真希)

◇この間はありがとうございました。来年もお寺に行かせてください。一八日は友達もたくさんできました。している友達もいました。五年生では自然学校があったのでその友達もいました。来年もいきますからよろしくおねがいします。(横山佳子)

◇先日は楽しい子供会行事に参加させていただきました。ありがとうございます。参加させていたただくのは、子供たちは二回目でしたが、私は初めての事でした。次から次へと子供達をあきさせないスケジュールに、ご苦労が伺えました。子供達はゲームを楽しみ食事もおいしかったです。大変喜んでおりました。お参りの仕方も教えていただき、お教えた後は、お数珠を大切に扱うようになりました。「来年もまた来てください」という仏婦役員様のお言葉に、「絶対に行く」と張り切っております。(石田和輝・結の母)

◇いちばんこころにのこつたのは「ありがとうございます」というおじいちゃんのお話し。こぼのなかでいばいばいことばで、どんなときにも「ありがとうございます」といいます。ゲームがめっちゃくちやあもしろかったです。大きなゴロゴロちゃんがついて雨がふりだしたのでせつかくおあちゃんがいけなくしてくれたウオークラリーにいけないこととがごんねんでした。(西池深音)

◇おてらのこどもかい、おもしろかったです。ありがとうございます。らいねんもいかせてください。(なかしま・じゅんき)

8月18日の日は、楽しいゲーム、おいしいごはんをありがとうございました。ごいんげさん、お話をきいて戦争はこわいなと思えました。ウオークラリーでいけなくなつたのがとてもごんねんでした。カレーもランチもどちらもとてもおいしかったです。つくってくれたおばちゃんたち、どうもありがとうございました。(中しま美佳)